落第忍者乱太郎 52

尼子騒兵衛

○ 46 ○

尼子先生へのはげましのおたより、「落第忍者　乱太郎」の感想や意見をおよせください。あて先は〒104・8433　朝日小学生新聞編集部「乱太郎」係。または、ファクス03・3545・0727で。

忍タマになった気分で、落乱を読みながら忍術の勉強をしています。大好き落乱!!（福井県・薄谷弥佳）

アフリカの国セネガルを訪問

カキの養殖などに日本の協力

さかなクンは先日、暑いイメージのある国を訪ねました。アフリカのセネガルでギョさいます。セネガルには雨の多い雨季と、少ない乾季がギョざいますが、今はちょうど乾季で、空気がカラッとして心地よいそよ風がふき抜け、過ごしやすかったです。

お魚とお米を好む

セネガルの人たちは、お魚を好みます。なんと、お札にもセネガルの国民魚といわれるチョウチョウウオの仲間が描かれています。

セネガルの人たちは、お魚とお米をたくさん食べます。どのお料理もおいしい!!　特にチュブ（お米）ジェン（お魚）というお魚料理は煮こんだトマトやキャベツなどのお野菜と、イワシの仲間や高級魚のハタの仲間などをご飯といっしょにいただきます。ピーフシチューのお魚版のようでおいしい!

カキの養殖のようす

【人口】1310万人(2012年)
【面積】約19万平方キロメートル（日本の約半分）
【首都】ダカール
【ことば】フランス語（公用語）、民族語
【通貨】ＣＦＡフラン

旅の目的は、セネガルと日本のつながりや、セネガルの漁業や水産資源、保護などをしっかり見て学ばせていただくためでギョさいました。セネガルのみなさまに支援をされている国際協力機構（ＪＩＣＡ）の専門家、池田誠先生ご一行さまに学ばせていただきながら、各地をまわりました。

水揚げ浜と呼ばれる砂浜に行くと、信じられない光景が！　数えきれないほどたくさんの長くギョさいました。セネガルのみなさまのために次々と砂浜の上にのあげてきます。そして、たくさんの人たちがとれたお魚を、馬車の荷台にうつしかえ、お馬さんが運んでいくのです!!　ギョギョびっくり!!

魚市場でワクワク

日本の人たちがつくられた大きな魚市場には、日本でもおなじみのカツオやタチウオやマトウダイ、さかなクンが見たこともないメートル以上もある巨大なニベやツバメコノシロの仲間やサカタザメの仲間など、たくさんのお魚が並んでいてワクワクしました。

日本はセネガルなどのアフリカの国々からタコをはじめ、さまざまなものを輸入しています。日本からは、さまざまな知識や技術を伝えました。たとえば、セネガルの海のマダコの数が減らないようにタコが大事な卵を産む期間を禁漁期に定めること。また、お母さんダコが安心して卵を産んで守れるように産卵用のタコつぼを海にたくさん入れてあげること。天然のカキをとりすぎて減らさないように、カキの養殖方法などの技術の指導もされています。カキをたくさん大事に養殖されていました。

さかなクンも、セネガルのみなさまのためにできることを考えていきたいです。水族館がないそうですので、いつか水族館ができたらうれしい！と思いました。

❶セネガルの子どもたちと
❼カラフルな木造船

http://www.sakanakun.com